

第2学年 特別活動(2) 学習指導案

1 題材 「好き嫌いをなくすぞ！大作戦」(学校給食と望ましい食習慣)

2 指導観

本学級の子ども達は、給食を大変楽しみにし、1学期から給食の残菜がほとんどない状況である。これは、1学期の「好き嫌いをなくすぞ！大作戦」の学習や「2年1組元気の木」の取組を通して、好き嫌いなく何でも食べる、残さず食べるという意識が高められたためである。また、生活科の夏野菜作りの実践において、一生懸命に育て、収穫した生のピーマンをおいしそうに食べたり、苦手な野菜にも挑戦したりするなど、食べる喜びを実感したためである。

しかし、事前に行った食に関するアンケートでは、給食は残さず食べているものの、食べ物に対する苦手意識が顕著に見られる。子ども達は、洋風食や軟らかいものを好み、和風食やよく噛まない食べられないものを苦手とする傾向にあり、特に納豆 13%、グリンピースや大豆などの豆 17.4%と豆類に苦手意識が見られた。

昨年度の本校の給食献立別残菜では、「大豆の五目煮」「コスタリカライス」「豆腐とニラの炒め煮」など大豆製品を使う献立の残菜が目立ち、学年進行に伴い残菜率が増える傾向にある。

本題材では、大豆が様々な食品に姿を変える不思議さから大豆への関心を高め、その栄養や働きを知り、好き嫌いなく食べようとする態度を身に付けることをねらいとしている。

大豆は日本で古くから親しまれており、豆腐や味噌、醤油など多くの食品に加工され、家庭で広く食されている。また、良質のタンパク質に加え、炭水化物、ビタミン類、カルシウム、食物繊維などを豊富に含み、成長期の子どもに有用な食品であることから、学校給食にも大豆を中心に豆製品を献立に多く取り入れている。

そこで、1学期の生活科の学習や食に関する指導を通して、食べ物への関心が高まっているこの時期に、給食に多く使用され、多くの食べ物に姿を変える大豆について学習を深める。低学年の時期に豆の栄養や働きを知り、残さず食べようとする意欲を高めることは、食を豊かにし、生涯に渡り自己管理能力の基礎を培う上で意義深いと考え、本題材を設定した。

本題材の指導にあたっては、事前に食に関するアンケートを実施し、子どもの食習慣や学習の成果を把握するとともに、給食の様子から一人ひとりの課題をつかむ。

本時では、まず、本校の給食で残菜がある献立を提示することにより、給食への関心を高め自分たちの実態から問題点を見つけることができるようにする。次に、グル・プごとに数種類の豆から大豆や小豆をみつける活動や大豆を原料とする食べ物探しを行うことにより、大豆が身近な食べ物であることを実感させる。その際、パネルシアター等、視覚的に有効な資料も活用する。そして、1学期に学習した「赤・黄・緑の食べ物」の働きを確認し、学校栄養職員が大豆にはすべての栄養が含まれることを伝える。最後に保護者に依頼した「食事への思いや願い」の手紙を読んでもらい「好き嫌いなく、何でも食べる」ことへの子どもの意識を高める。これは、単に残菜をなくすのが目標ではなく、何でも食べることが体にとって大切であることを理解するとともに、やむをえず残す際には、作ってくれた人の気持ちや願いを考えることのできる子どもに育ててほしいという担任の願いがある。

事後の活動では、毎月食育の日(19日)を含む1週間、「元気の木」の取組を継続する。また、家庭と連携して家庭や給食の献立で大豆製品調べを行い、その実践を定期的に学級通信で発信し、意図的に家庭を啓発し、子どもが自らの課題に合う具体的な目標での実践の継続を図る。

3 目標

豆に関心をもち、好き嫌いなく食べようとする態度を身に付けることができる（関心・意欲・態度）
 自分の食生活について、自分のめあてを決めることができる。（思考・判断）
 自分が決めためあてを計画・実践することができる。（技能・表現）
 大豆から、色々な食べ物ができていることを知る。（知識・理解）

4 食育の視点

健康で丈夫な体を作るためには、好き嫌いせず何でもバランスよく食べることの大切さに気づき、自分の食生活を振り返り、めあてを決めて実践することができる。（心身の健康）

5 事前及び事後の活動

配時	学習活動と内容	指導上の留意点	日時
事前	1 食に関する事前アンケートをとる。	給食と家庭での食事のとり方，食べ物に関する好き嫌いの実態をつかむため給食の具体的な献立を想起しながらアンケートをとらせる。	9月3日 帰りの会
事後	1 自己決定したことを実践する。 好き嫌いなく食べているか振り返ること ・「2年〇組 元気の木」の取組 ・大豆製品調べ（給食と家庭にて）	一週間，給食振り返りカードに記入させる。 家庭への理解，啓発を促すためにも事前に懇談会や学級便りで保護者への理解を得ておく。	11月 12～21日 給食時間
	2 実践したことを振り返る。	「2年〇組 元気の木」が大きな実をつけていることを賞賛し，クラス全体の頑張りを紹介しあう。 事後活動も意識を継続，発展できるよう係活動などを活用し，実践や取組を広げ深めるようにする。	11月21日 帰りの会
	3 豆元気カルタをする。 豆について理解を深めるとともに食について関心を持つこと	新しく知った，豆に関する知識を児童全体に広げる。	11月 25，26日 モジュール

6 本時の活動

(1) 目標 豆について興味・関心をもち、大豆と食べ物との関わりや栄養について知る。
 (知識・理解)
 親の願いを知り、好き嫌いしないで食べようとする意欲を持つ。(関心・意欲・態度)

(2) 日時 平成20年11月12日(水) 5校時

(3) 準備 写真・絵 豆(大豆,小豆,虎豆,いんげん豆,うずら豆) 台紙・絵カード
 パネルシアター 働きカード 保護者の手紙 学習カード

7 展開

展開	配時	学習活動と内容	指導上の留意点		資料									
			T 1	T 2										
導入	5	<p>1 学校全体の給食の豆類の残菜が多いことを知り，本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて _____ 食べ物の好き嫌いについて考えよう</p> </div> <p>2 どんな食べ物が残っているのか考える。</p>	<p>献立別残菜量を示した絵を見せ，献立に興味をもたせる。</p> <p>豆類を使った献立が多く残っていることに気付かせる。</p>											
展開	30	<p>3 豆のひみつを知る。</p> <p>(1)豆にはいろいろな種類があることや大豆が変身することが分かる。</p> <p>大豆と豆腐，味噌，枝豆等との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆の中から大豆と小豆を見つける ・大豆の変身 <p>(2)大豆と枝豆の栄養や働きについて知り，豆がすばらしい食べ物だと分かる。</p> <p>3つの食品群について</p> <table style="border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">赤の食べ物</td> <td style="padding: 2px;">血や肉をつくる</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; padding-left: 10px;">}</td> <td rowspan="3" style="padding-left: 5px;">大豆</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">黄の食べ物</td> <td style="padding: 2px;">熱や力のもとになる</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">緑の食べ物</td> <td style="padding: 2px;">病気にかかりにくくする</td> <td style="padding-left: 5px;">栄養</td> </tr> </table> <p>4 保護者の願いを知る。</p> <p>何でも食べて元気に育ってほしいという思いを知ること</p>	赤の食べ物	血や肉をつくる	}	大豆	黄の食べ物	熱や力のもとになる	緑の食べ物	病気にかかりにくくする	栄養	<p>豆の中でも大豆に注目し大豆に興味・関心をもつ活動ができるよう配慮する。</p> <p>グループ活動での話し合いができていないところには話し合いの仕方やヒントを支援する。</p> <p>あらかじめこの学習のねらいを親に話し，子ども達へ好き嫌いせず何でも食べて元気に育ってほしいというメッセージを読んでもらう。</p>	<p>さまざまな豆の中から「大豆・小豆」を選ばせる。</p> <p>グループごとに絵カードを配り大豆からできる食べ物を選ばせる。</p> <p>大豆の変身や枝豆が大豆になることをパネルシアターを用い説明する。</p> <p>大豆や枝豆は，赤・黄・緑の働きをもつすばらしい食べ物であることを知らせる。</p>	
赤の食べ物	血や肉をつくる	}	大豆											
黄の食べ物	熱や力のもとになる													
緑の食べ物	病気にかかりにくくする			栄養										
まとめ	10	<p>5 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1)今日の学習を通しての感想，今後がんばりたいことを学習カードに記入する。</p> <p>健康のために好き嫌いをなく何でも食べようとする事</p> <p>(2)自己決定した内容を発表し合う。</p> <p>実践への意欲をもつこと</p>	<p>これからがんばりたいことを記入させる。</p> <p>がんばろうと思う理由，目標を認め学級に広める。</p> <p>「元気の木」に赤，黄，緑の実をはっていくことで意欲をもたせる。</p>	<p>机間指導を行い，好き嫌いが無い子に対しては，がんばりたいことを食べ方や量についての視点で決定できるよう支援する。</p>										